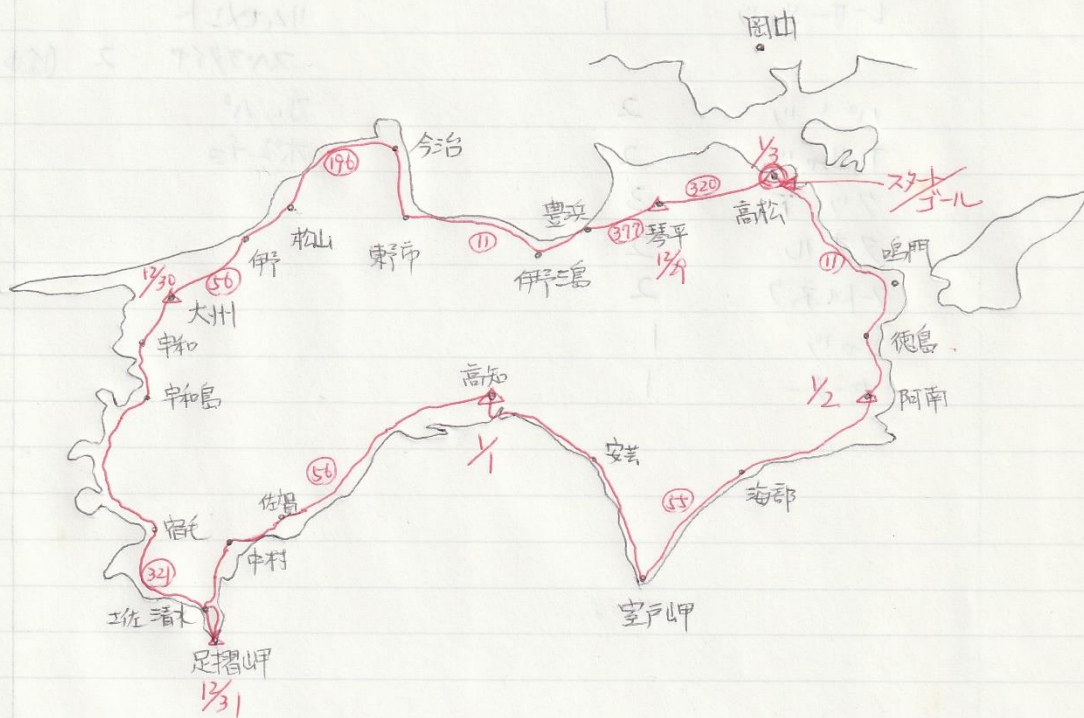


四国一周

1988年 12月 29, 30, 31日

1989年 1月 1, 2, 3, 4日



日程 6泊7日

費用 ¥102,066 - (交通費 35,800 -)

走行距離 908km

オートレサ使用

 ** チャリンコ旅日記 No.15 **
 ** Resistance Of My Mind 19920215 **

【 1988年12/29日から1/4日 四国一周 908Km 】

【 12月29日(木) 】 晴/曇り 走行距離 40Km
 新前橋駅 → 東京 → 岡山市 → 高松市 走行時間 3時30分
 高松市 → 琴平

3:40	起床	14:10	高松駅 出る
4:22	新前橋駅 着 ハン、ジュース ¥168-	32	休む
5:12	出る 弁当 ¥800-	37	出る
8:12	東京駅 出る ひかり121号	15:33	琴平
12:16	岡山駅 着	16:10	金比羅神社 お守り ¥1000-
39	出る ハン、ジュース ¥180-	36	琴平駅前
	マリンライナー15号	17:20	旅館 素泊まり ¥5000-
13:37	高松駅 着		ラーメン、おでん ¥660-
			朝食 ¥348-
			交通費 ¥35840-

ここ4, 5年、年末年始に家に居たことがない。毎年の様に、新前橋駅始発の5時12分の電車に乗るために、早朝の駅の待合い室で旅立ちの不安におびえている。しかし今回は、旅立つ事が嬉しかった。今年の春に完成したばかりの瀬戸大橋を電車マリンライナーで渡って、四国一周の始発点、高松駅に着いたのは、13時30分。

四国へ来たら金毘羅様。高松市から40Km離れた琴平に着いたのは15時半。自転車を担いで金毘羅様の長い階段を上る。観光客やみやげ物屋の人が珍しげに見ている。やっと辿り着いた本堂は、写真で見ると清水の舞台と同じ様な作りになっている。

旅館探しは、17時を過ぎてから。観光案内所や派出所に入って旅館を探したが見つからない。自転車で旅館街をしばらくうろついてやっとみやげ物屋の旅館を見つけて、そこに一晩の宿をお願いした。素泊まり5千円の旅館。でも、泊まる所が見つかって良かった。

【12月30日(金)】 快晴

走行距離 205 Km

琴平 → 豊浜 → 伊予三島 → 新居浜 → 大州
→ 東予市 → 今治 → 松山 → 伊予 → 大州

走行時間 10時17分

5:30	起床	12:48	松山	ジュース ¥100-
6:10	旅館 出る 真っ暗	13:00	出る	
7:03	豊浜	14:09	伊予市	タケ ¥3200-
23	伊予三島	15	出る	
33	出る	28	トイレ	
8:15	休む 製紙工場が多く	33	出る	
22	出る 煙がすごい	15:22	休み	ジュース ¥100-
9:22	西条市	26	出る	
29	出る	16:16	大州駅	
10:24	今治市	27	ビジネスホテル着	¥4000-
50	出る 赤飯 ¥765-		朝ごはん	¥130-
11:46	菊間港 後輪パンク		夕食	¥1300-
12:04	出る		朝食	¥949-

朝6時、まだ暗い内に旅館を出る。昨夜は、変な夢を見た。私が、部屋の天井付近から布団に寝ている自分を見おろしている夢だった。夢の中で、俺は死んでしまったんだな、と思っていた。でも不思議に、悲しくはなかった。死をそのまま受け入れていた。金毘羅様の町だからこんな夢を見たのかなど、神様の因縁を感じていた。

瀬戸内海に面した伊予三島辺りは、大きな製紙工場が多く、煙突からもうもうと煙を吐き出している。その煙で辺りが霞んでいる。そして、早く走り去りたいほどの臭いに息を殺して走るが、結局途中で深呼吸している。

今治市のスーパーの駐車場の片隅で買ったばかりのバナナやコロッケを食べていると、白い犬が私を避ける様に逃げて行く。私は、もしかして乞食？不思議な気持ちでここを出発して、1時間位で後輪がパンクしてしまった。まったく、運が悪い。

走りながら今夜の宿を大州市と決めて、伊予市から内陸へ向かって行く。伊予市に着いた時は、すでに疲れていたが、大州市までは2時間の距離。小さな峠を越えて大州市に着いたのは4時過ぎ。駅前の案内で旅館を探して、駅前から電話予約をする。駅からすぐのビジネスホテル。受付で、カウンターの上にナカヨの電子交換機を見つけて、係りの人に身分証明書を見せた。「私は、この交換機を作った会社に勤めているんですよ。」宿泊費を負けてはくれなかったが、気持ちの良いホテルだ。今夜は、街でいっぱい飲む。

【12月31日(土)】 曇り/小雨

走行距離 176Km

大州市 → 宇和島市 → 宿毛市 →
→土佐清水市 → 足摺岬

走行時間 8時50分

5:20	起床	お湯を沸かして	11:43	休み	小筑紫 アマン、ジュース
6:25	出る	ラーメンを作る	53	出る	¥180-
7:23	トル		12:10	休み	シャツ脱ぐ
8:07	宇和島市	42Km	15	出る	
24	休み	ジュース ¥100-	45	小才角	トル 風 黒雲
32	出る	トル ジャパン-脱ぐ	47	出る	道が濡れている
10:03	御荘町	休み パン、ジュース	13:26	休み	竜串 トン靴多い
21	出る	曇り ¥198- 85Km	34	出る	パン、ジュース ¥255-
53	トル		15:06	足摺岬	
57	出る		15:15	白皇YH	¥2800-
11:20	宿毛市			飲み屋	¥900-
				タイキ、ジュース	¥400-

昨夜スーパーで、ご飯とおかず・カップラーメンを買っておいたので、朝食は豪勢だった。お腹がいっぱいでスピードが出ない。散歩気分でゆっくり走る。20数年前に、NHKで放映していた”おはなはん”の舞台が大州市であることを初めて知り、懐かしさを胸にR56を宇和島へ向けて南下する。今日は、「夕方には雨になり元旦の朝まで雨が残る。」という昨夜の天気予報通り、曇り空。雨が降らないうちに足摺岬へ行き、今晚は土佐清水市に宿を取りたい。

昼過ぎ、土佐清水市に近づくにつれて路面が濡れている様になり、小雨がパラツキ出したが、ウインドブレーカのまま走る。土佐清水市に入る頃には小雨も上がり、走りながら旅館を探したが見あたらない。そのまま足摺岬まで走る。狭いアップダウンの道に人家は迫り、車のすれ違いもままならない。足摺岬の燈台の近くにYHを見つけ、すぐ前の電話ボックスから予約をする。ちょうど、YHの会員証の期限が切れる最後の日だった。

YHでは、疲れのためか、周囲の人達と年齢の差を感じるためか、あまりなじめなかった。でも、夜は素敵だった。夜中12時前に近くの金剛福寺に、二年参りに出かけた。境内では、かがり火が焚かれ暖を取っている人がある。顔を炎で赤らめている人の姿は、一年の罪悪を焼き払っているようで、何か異様な感じがする。パチパチと薪がはじける度に舞い上がる火の粉が風に揺らめいて闇の中に消え行く様は、螢の様に神秘的な時を醸し出している。参拝客が次第に集まり始め、交替で鐘突きを始めている。私は、突き棒のタイミングを取りながら“今年こそは、彼女が出来ますように”と念じ、鐘をおもいっきり突いた。……。

【1月1日(金)】 雨/晴

走行距離 173Km

足摺岬 → 土佐清水市 → 中村市 → 窪川町 → 走行時間 8時55分
→ 須崎市 → 土佐市 → 高知市

6:25	起床		12:20	窪川町	
7:20	出発	タイキ、ジュース ¥300-	35	平串	昼食 ¥780-
8:13	土佐清水市		13:07	出る	
50	下ノ加江	カッパ°脱ぐ	14:00	久礼坂峠 下り坂	
58	出る		23	須崎市	134Km
10:00	中村市	晴、風 52Km	28	休み	ジュース ¥100-
11	出る	パン、ジュース ¥210-	36	出る	
49	トル		15:20	土佐市	
52	出る		16:15	高知市	ビジネスホテル ¥5000-
12:00	五在所の峰(片坂) 上り坂				ケーキ、パン ¥1110-
					ジュース ¥100-
					夕食、ビール ¥1480-

5時頃、YHの布団の中で雨音に気がついた。出発をためらい、そのまま6時過ぎまで寝ていた。このままでは、今日の行程がつぶれてしまう。しかも、四国一周さえも危なくなる。“雨の中を走って、ダメだったらまた宿を探せば良いじゃないか。とにかく、少しでも前に進もう。”と思い、意を決して起きて出発の準備をする。リュックをポンチョでくるんでロープで縛り、私は黄色いカッパを着ている。そして、内心意気込んで出発したら、カッパを着ている事が恥ずかしい程の小降りになってしまっていた。せつかく、雨の中を走る気になったのに。でもそのまま走り出す。一時間程走ると、青空がのぞきだした。R321が四万十川に突き当たると、国道は堤防の上を走る様になった。しかも、天気は快復して、北の向かい風が強くなり走るのが大変。

中村市を過ぎて佐賀町から内陸を走る様になる。そして、五在所の峰から上り坂が始まり、峠らしき所を過ぎて道は下る気配を見せない。丁度、窪川町は、台地の上にあるのだろうと思いながら1時間程走って行くと、案の定すごい下りがあった。その名は、久礼坂峠。峠から下の須崎市まで30分程で着いた。もっとも、須崎市から窪川町へ向かうと、久礼坂峠はすごい上り坂になる。

今日の目標の、高知市には4時過ぎに到着。果たして1月1日に宿が見つかるか心配だった。市街を走って、駅に向かいながらホテルを探していた。そして、辺りが寒くなりだした頃、ようやくホテルが見つかった。今夜は、ホテル一階のレストランで、ビールを飲みながら坂本竜馬の故郷にたどり着いた事を喜び、その疲れを癒していた。

【1月2日(月)】 快晴

走行距離 212Km

高知市 → 安芸市 → 室戸岬 →
→ 海部町 → 日和佐町 → 阿南市

走行時間 9時45分

5:57	起床			11:15	室戸市		
6:52	出る	7:10	頃日の出	26	室戸岬	トイレ ジュース ¥100-	
7:30	桂浜	トイレ				中岡慎太郎の像 100Km	
57	出る			42	出る		
8:47	赤岡市	犬に追われる		13:17	東洋町	甲浦 カ- ¥500-	
52	休み	パン、牛乳 ¥260-		28	出る		
9:02	出る			14:11	休む	トイレ ジュース ¥100-	
41	安芸市			19	出る		
10:00	休み	ジュース ¥100-		15:10	日和佐町		
09	出る			16:37	阿南市	ビジネスホテル ¥3800-	
23	奈半利町					夕食、ビール ¥1500-	
						朝食 ¥723-	

5時のアラームを聞きもらし、目覚めたのは6時前。ホテルの部屋で昨日買っておいたパンを食べて、出発したのは日の出前。正月でがら空きの道を自転車は、自然と桂浜を目指していた。ほんとは、桂浜からの日の出を見たかったが、そこへ行き着く前に太陽が出てしまった。しかし、坂本竜馬の像を朝日の中に見る事が出来て、嬉しかった。桂浜を30分程で後にして、高知港の出入口に掛かる浦戸大橋を渡って室戸岬を目指す。空港わきのわけの分からない工事中の道を赤岡町に向かう。国道を外れてしまい、何とかR55に乗ろうと思っではいるがなかなか国道に出ない。もう慣れた物で、走る方角が合っていれば良いと思っている。途中、野良犬2頭に追いかけて、真剣に坂道を走ってしまい、恐怖と疲労が一気に襲ってきた。

室戸岬には、昼前に着いた。岬の公園から見る海は温かそうで、まぶしい程に春の輝きをしていた。岬の橋の中腹には、中岡慎太郎の像が、黒潮の海を遠く見つめていた。でも私は、このおじさんが誰なのか未だに知らない。

岬を廻って、海亀の産卵地で有名な日和佐町を通り阿南市までやってきた。途中、タクシーの運転手に、阿南市の旅館を教えてもらったりして、ようやくホテルで休む事が出来た。今日は、一日中いらいらしていた。午前中は会社の事でいらいらし、午後は、反対車線から追い越しを掛けてくる車に腹を立てていた。でも無事、一日が終わり、静かに休む事が出来る。夜、テレビで——ロッキー4をやっていた。私の好きな映画のひとつ。

【1月3日(火)】 晴/曇り

走行距離 102Km

阿南市 → 徳島市 → 鳴門市 →
→ 引田町 → 津田町 → 高松市

走行時間 5時11分

5:32	起床	10:40	津田町
6:54	出る	12:05	高松駅
8:05	徳島市 曇り		栗林公園 ¥300-
33	休み トイレ		みやげ ¥16000-
37	出る		高松ラザホテル ¥4700-
9:43	引田町 ジュース ¥100-		食事 ¥1780-
50	出る		

今日半日走れば、四国を一周する事が出来る。心は弾み気持ちは高松に飛んでいた。しかし、天気はそんな私の気持ちとは裏腹で、出発の時は晴れていたのに朝焼けになり、徳島市に入った時には曇り空で、走っていてもふるえる程寒くなってしまった。鳴門市を廻って、海岸沿いのR11に出たら、寒さはいっそうきびしくなった。途中、暖かい缶ジュースを飲んで休んだが、すぐに寒くなる。

高松を目指して走りながら、心は温かいラーメンの虜になっていた。“高松に着くのは、丁度昼時。高松に着いたら、ラーメン屋に入ってニンニクの利いたラーメンが食べたい。絶対にラーメンを食べるんだ。”と思っていた。前方に、屋島が見えてきた時には、もうすぐ高松に着くと思ったが、なかなか近づかない。道幅が広がり、車が多くなり、建物も多くなり、まるで四国一周の凱旋をしている様だ。そして、12時5分、高松駅に到着。出発の時と同じ場所に自転車を止めて、運動靴に履き替える。駅の案内所でホテルの予約をして、ラーメン屋を求めて自転車で繁華街へ乗りだした。

繁華街を南へ抜けた所に赤いのれんの食堂を見つけた。店先には二台のロードレーサーが止めてある。“誰か、自転車をやっている人がいるな”と思って、中に入るとすぐにレーサーの人と目が合った。一目見て、自転車をやっている人だとわかった。私は、すぐにその人に挨拶をした。それから話が始まって“まあ、いっぱいやりながら旅の話でも聞かせてくれや…”てなことになって、同じ、自転車の仲間であると言うだけで見ず知らずの人に、焼き肉やビールをご馳走になった。その後、栗林公園まで案内してもらって分かれた。

彼は、高松市内で「鳥升」という食べ物屋を経営している50歳程の人で、私が、「駅の近くのホテルに泊まっている」というと、「今夜、店に遊びに来なさい」と言ってくれた。私は、その晩もたいそうご馳走になってしまった。不思議な出合だった。

【1月4日(水)】 晴

走行距離 0Km

高松市 → 岡山市 → 東京 →
→ 上野 → 高崎 → 前橋

走行時間 0分

7:00	起床	朝食 ¥700-
11:07	高松市 出る フェリー	宇高国道フェリー
12:15	宇野市 着 出る バス	セット料金 ¥950- 高松 → 宇野 → 岡山 フェリー バス
13:21	岡山駅 着	
15:11	// 出る ひかり226号	フィルム ¥650-
19:28	東京駅 着	弁当 ¥800-
20:10	上野駅 出る とき429号	
21:02	高崎駅 着	
21:55	前橋駅 着	

四国一周を無事に終え、今日は群馬へ帰る日。毎日の様に苦しんで走っていた事が嘘のような、落ち着いた朝を楽しんでいる。柔らかな光に包まれた景色が新鮮に見えて、しばらくここに居たい気分。眼下には、宇高国道フェリーの乗り場が見える。今日11時には、そこからフェリーに乗ら^{って帰る}ねばならない。予定では、電車で岡山へ出るつもりだった。しかし、昨日知り合った河端さんの話では、帰省ラッシュの電車よりフェリーで宇野へ渡って、バスで岡山へ行く方が楽だという。丁度、このフェリー乗り場からは、宇野から岡山駅までのバス料金がセットになっているフェリーが出る。

しばらくしてから、ホテルのレストランで朝食をとる。なんとなく、優雅な気分。朝食後、自転車を宅急便で送るために、河端さんに紹介された自転車屋へ行き自転車を預けてくる。帰りに河端さんの店へ寄って、お礼を言って行く。帰り際に、「日立マクセルの高崎出張所の所長をしている、池上さんへおみやげを持って行ってくれ。」と、おみやげを預かって行く。高崎は、前橋の隣の町。不思議な出合で、また新しい人に出会う事が出来ると思って、快く引き受けた。今でも河端さんには年賀状を出しているが、機会が在ったら高松の彼の店に是非立ち寄りしたい、と思っている。

高松から出たフェリーはがら空きで、遠ざかる景色を心に焼き付けようとしている。源氏と平家の合戦が、ここ屋島で行われた事さえ知らなかった。瀬戸内海を行き交う船。残念ながら、瀬戸大橋を眺めるには遠すぎたが、船旅も良いものだ。宇野へは、1時間程で着き、そこから岡山駅へは、更に1時間掛かった。

毎日毎日、苦しんで走っていた事が夢の様な今、私はまた、家に帰ろうとしている。沢山の思い出を胸いっぱい詰めたつもりだが、穴の開いたポケットの様に、家に帰り着くまでには殆どなくなってしまった。数人の人と出合、四国を一周した事だけが辛うじて残っていた。それが私にとってどれ程大切なものか、私自身分からない……。

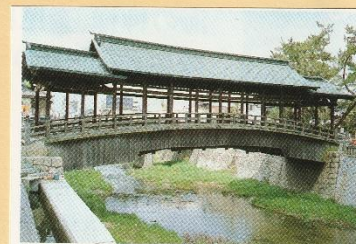
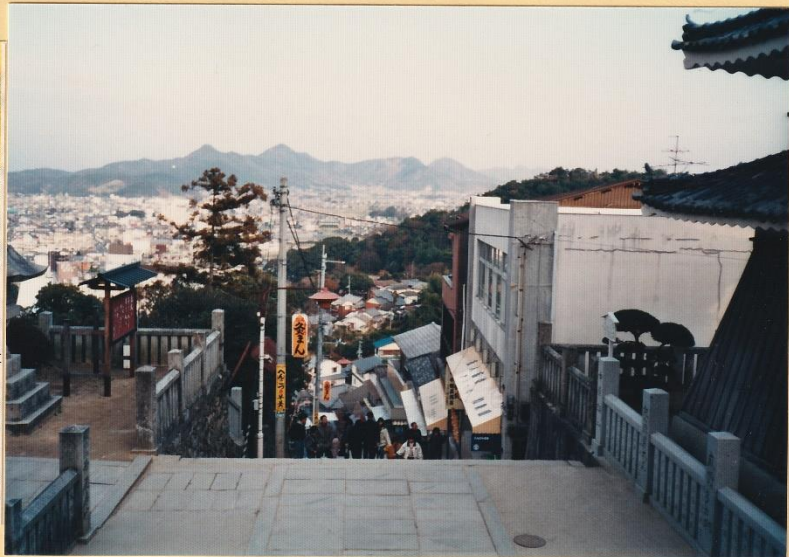
1229
金毘羅様



琴弾公園

●琴弾公園の銭形

J R 観音寺駅から徒歩20分。付近一体は国の名勝に指定されています。琴弾山の頂上からは、有明の浜に砂で描いた、周囲約345mの「寛永通宝」の銭形と、瀬戸内海の美しい眺望が楽しめます。また有明海岸は海水浴場としても有名です。

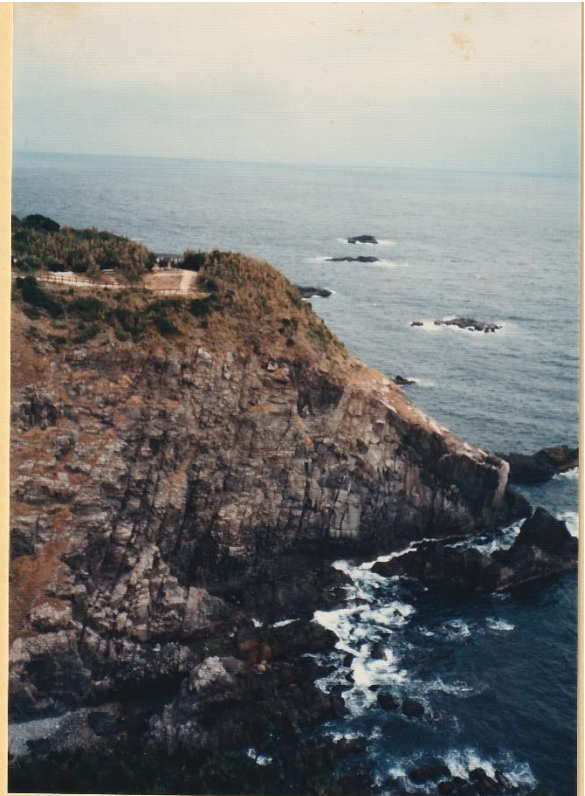


さや橋



足摺岬

1231



ここは「中浜 万次郎」の像がある。



金剛福寺 (38番)



0102
室戸岬





0102

桂浜





0102

坂本龍馬





0103

栗林公園



0103
栗林公園



栗林公園案内図

1時間程度でお回りの方は南庭幹線コースを是非ご覧下さい。(—実線で示す順路)
 なお、時間によろうのある方は北庭もご覧下さい。(-----線で示す順路)
 この所要時間は約30分です。



香川県栗林公園観光事
 電話 33 7411



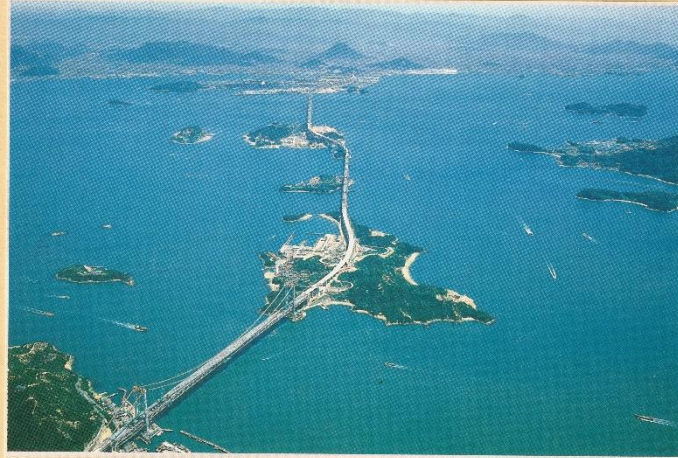
特別名勝・栗林公園

本園は、元龜、天正の頃当地の豪族佐藤家により、西南地区(小普陀附近)に築庭されたのに始まり、その後寛永初年(約360年前)当時の高松藩主生駒高俊公によって南湖一帯が造園され、更に寛永19年入封した藩主松平頼重公(水戸光圀の兄君)に引継がれました。以来5代頼恭公に至る100年余の間、歴代藩主が修築を重ね完成されたものです。

その後、明治維新に至るまで松平家11代228年間にわたり下屋敷として経営されました。

秀麗なる紫雲山を借景に、総面積75ヘクタール(約23万坪)で南北二つの庭に分れ、江戸時代初期から中期に見られる回遊式大名庭として、すぐれた地割、石組を有し、6つの池と13の丘を基調として巧みに配置されています。

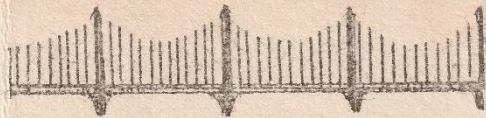
園内には民芸、民具を保存展示する「さぬき民芸館」、藩政時代に大茶屋とも呼ばれた「掬月亭」など見るべきものがあります。



瀬戸大橋開通記念



いの町紙の博物館
 (INO PAPER MUSEUM)
 高知県ユース・ホステルペアレント連絡協議会



青春の旅は 自己発見!!
 ホステルのスタンプ



素朴と優雅「土佐和紙」
 『TOSAWASHI』 SIMUPLE & ELEGANT 坂本龍馬



白皇神社ユースホステル

土佐清水市猪俣 TEL.08808-8-0324
 8-0822



0104
高松港



丸
屋島